



令和4年度 教育課程研究協議会【道徳部会】

部会全体説明②
「道徳科の指導と授業改善」
「道徳科の指導におけるICT活用と授業改善」

【小学校】7月28日(木) PM
【中学校】7月15日(金) PM
岐阜県教育委員会

道徳科の指導と授業改善・目指す授業の方向

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習**を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

※道徳科の目標より一部抜粋 ※ () は中学校

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.16」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.13」

道徳科の指導と授業改善・目指す授業の方向

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習**を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

※道徳科の目標より一部抜粋 ※ () は中学校

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.16」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.13」

4つの観点から
授業改善

道徳的諸価値を
理解すること

自己を見つめる
こと

多面的・多角的に
捉えること

生き方についての
考えを深めること

道徳科の指導と授業改善・目指す授業の方向

〔道徳的諸価値についての理解〕とは

- 価値理解・・・よりよく生きる上で大切なことであると理解すること
- 人間理解・・・
- 他者理解・・・

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.17～」

道徳科の指導と授業改善・目指す授業の方向

〔道徳的諸価値についての理解〕とは（中学校）

- 信じて疑わない様々な道徳的価値について、体験や教材との出会いや他者との対話などを手掛かりとして、**自己との関わりを問い直すこと**によって、そこから本当の理解が始まる。
- 複数の道徳的価値の中から、どの価値を優先するのか、その際の**葛藤や揺れ、選択した結果**から道徳的諸価値への理解が始まる。

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.14～」

道徳科の指導と授業改善・目指す授業の方向

〔自己を見つめる〕とは

- **自分の経験やその時の感じ方、考え方と照らし合わせながら、更に考えを深めること。**（小学校）
- **真摯に自己と向き合い、自分との関わりで改めて道徳的価値を捉え、かけがえのない人格としてその在り方や生き方など自己理解を深めていくこと。**（中学校）

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.18」

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.15」

道徳科の指導と授業改善・目指す授業の方向

〔物事を(広い視野から)
多面的・多角的に考える〕とは

- 物事を一面的に捉えるのではなく、道徳的諸価値の理解を基に、**様々な視点から物事を考えること** (小学校)
- 諸事情の背景にある**道徳的価値の多面性に着目させ、それを手掛かりに考察し、様々な角度から総合的に考察すること** (中学校)

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.18」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.16」

道徳科の指導と授業改善・目指す授業の方向

〔自己の(人間としての)
生き方についての考えを深める〕とは

- **自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方などを確かに想起したりすることができるよう**にすること (小学校)
- **人間についての深い理解と、これらを鏡として行為の主体として自己を深く見つめること** (中学校)

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.19」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.17」

道徳科の指導と授業改善・目指す授業の方向

道徳的諸価値についての理解を基に、
自己を見つめ、物事を(広い視野から)
多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)
生き方についての考えを深める
学習

※ () は中学校



**道徳的判断力、道徳的心情、
道徳的実践意欲と態度を育てる**

道徳科の指導と授業改善・学習指導の展開例

導入の工夫・・・

道徳的価値や自己を見つめる動機付けを図る。

- ① 主題や道徳的価値について、問題意識をもたせる導入
- ② 教材の内容に興味や関心などをもたせる導入

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.82～86」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.81～85」

道徳科の指導と授業改善・学習指導の展開例

展開の工夫・・・

道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、
多面的・多角的に考える活動を工夫する。

- ① 発問の工夫
- ② 話し合いの工夫
- ③ 動作化・役割演技などの表現活動の工夫

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.82～86」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.81～85」

道徳科の指導と授業改善・学習指導の展開例

終末の工夫・・・

道徳的価値を実現することのよさや難しさ
などを確認して今後の発展につなげる。

- ・考えたことや新たに分かったことを確かめる。
- ・学んだことを深く心にとどめる。
- ・これからへの思いや課題について考える

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.82～86」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.81～85」

道徳科の指導と授業改善・学習指導の展開例

指導の配慮事項より

- ・ 多様な考え方を生かすための言語活動
- ・ 問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導
- ・ 情報モラルと現代的な課題に関する指導

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.93~99」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.93~101」

道徳科の指導と授業改善・「考え、議論する道徳」

■ 「考え、議論する道徳」とは・・・

発達段階に応じ、
答えが一つでない道徳的な課題を
一人一人の児童（生徒）が
自分自身の問題と捉え、向き合う
「考える道徳」「議論する道徳」

※（ ）は中学校

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.2」
文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.2」

道徳科の指導におけるICT活用

文部科学省

GIGAスクール構想のもとでの 小学校特別の教科道徳の指導について

GIGAスクール構想のもとでの道徳科の指導において ICTを活用する際のポイント

道徳科の目標

第1章総論の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基礎となる道徳性を養うため、道徳的価値観についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心構え、実践態度を育てる。

道徳科の授業では、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供たちが自分自身の問題と捉え、向き合う。「考え、議論する道徳」への転換、「主体的・対話的で深い学び」の観点からの改善が求められる。

令和の日本型学校教育

こうした学習がより効果的に行われるようするための手段としてI.C.T.の活用が考えられ、全ての子供たちの可能性を引き出す。

個別最適な学び

協働的な学び

文部科学省「GIGAスクール構想のもとでの小学校特別の教科道徳の指導について」

道徳科の指導におけるICT活用

段階	学習の目的	主な学習活動	ICTの活用例
導入	・実態や問題を知る。	・道徳的価値について、問題意識をもつ。	・実態や問題の提示 (画像や映像、グラフ等)
展開	・教材を活用して、道徳的価値を理解し、よりよい生き方を考える。	・自分自身との関わりで考える。 ・多面的・多角的に考える。 ・自己の(人間としての)生き方についての考えを深める。	・教材の提示 (画像や映像等) ・自分の考えをもつ (ICT端末に示す) ・他者の考えを知る (ICT端末に共有する) (表やグラフ等) ・話し合う(直接的な対話) ・自己を見つめる (ICT端末に蓄積する)
結末	・よりよい生き方の実現への思いや願いを深める。	・道徳的価値についての自己実現への意欲を高める。	・生活の様子の提示 (画像や映像等) ・外部の方の言葉の提示 (画像や映像等)

・話し合う(直接的な対話)

文部科学省「GIGAスクール構想のもとでの小学校特別の教科道徳の指導について」
